



日本共産党
Japanese Communist Party

市議団ホームページ
Eメール
ブログ
和歌山市会議員団

和歌山市会議員

森下さち子 ニュース

2016年9月号

http://jcpwkym.sakura.ne.jp/
jcpwkym@apricot.ocn.ne.jp
http://sachikogo.exblog.jp/
TEL(435) 1113 FAX (421) 4181



9月議会 開会しました

9月7日から定例市議会が始まっています。一般質問は9日から16日まで、各常任会の審議は20日から23日までの予定です。

日本共産党議員団は5人全員が質問に登壇します。リアルタイムでのインターネット中継をご覧いただくか、傍聴にお越しください。また、インターネット中継は後日、録画でアツプされますので、ぜひご覧ください。

立秋が過ぎ、9月になりましたが、まだまだ暑い日が続いています。ただ、朝、夕は涼しくなってきました。熱帯夜が体に堪えている人も多いのではないのでしょうか。季節の変わり目でもあり、夏の疲れが出て体調を崩しやすいときです。体を休める日をとることも大切です。



今年は台風も多く、先日は東北へ進み大雨による被害が出ていました。以前にも書きましたが、これまでにはなかったようなことが起こる昨今、行政の防災、安全対策も、これまで通りでいいのかが問われています。

【報告】伏虎中学校跡地活用検討特別委員会

市民会館の移転用地として、また、県立医科大学に薬学部を新設する用地として伏虎中学校を使うとの市長の計画が6月議会で明らかになりました。これまでは、市民会館の移転先という説明しかされていなかったことから、医大薬学部の併設について、特別委員会が設置され、すでに3回開かれました。

まちなかのにぎわいを つくるため？

ブラクリ丁をはじめ、市の中心部は空洞化し人口は郊外へ移動しています。市長は中心部ににぎわいを取り戻すために、大学を誘致することが最も有効だと、医大薬学部をはじめ、雄湊小学校跡地には医療大学の看護学部を、本町小学校跡地には介護、保

育などの専門大学を誘致すると言っています。

若者が県外へ出ていかなくても済むようにとも言っています。誘致する大学が薬学部でいいのか、若者をはじめ、市民の意見はどうなのか、それを吸い上げることなく、どんどんトップダウンで進んできています。

議会に早々と伏虎中学校の用地の半分を医大の薬学部は無償貸与するための議案を提出しています。順番があべこべではないでしょうか。

市民に使ってもらいやすい、「全国に誇れる市民会館を」というなら、何より市民参加のプロセスを大切にしてほしいものです。

市民会館新設 基本計画は11月

新しい市民会館をどんな建物にするのか、その青写真が出てくるのはこの秋、11月頃だそうです。この青写真に基づいて市民が色々な意見を出し、より良いものにしていくという過程がもっと大切にされなければなりません。しかし、市長はこの9月

無料法律相談

9月12日(月) 午後6時～
9月27日(火) 午後1時～
津秦 森下さち子事務所にて
※事前に予約のお電話をお願いします。

TEL 435-1113

(共産党市議団

控室 森下佐知子ま
で)



「子ども・子育て新制度」研修会へ

研修会参加で学習&交流

7月末、仙台市で開催された、「子ども・子育て新制度」にかかわる議員研修会へ松坂美知子議員、中村朝人議員とともに参加しました。

現地では仙台市の議員とも交流し、震災の経験なども聞くことができました。

子ども・子育て新制度はこの4月から始まっていますが、制度の中身が複雑で分かりにくく、保育時間、保育料、認定子ども園など、これまでと変わるものがたくさんあります。当面、入所の調整や保育料については、今まで通り自治体が責任を持つことになりましたが、それが続く保障はありません。

和歌山市内公立保育所・公立幼稚園は統廃合

公立幼稚園は統廃合

和歌山市はこの新制度に合わせて、市内を6ブロックに分けて公立保育所と公立幼稚園を統廃合し、幼保連携型認定こども園にする計画を明らかにしています。

これによると、2015年

2017年までを前期、2018年〜2021年までを中期、2022年〜2024年までを後期として3期に分け、21の公立保育所を7に、13の公立幼稚園を9にすることになっています。

残る課題

保育所も幼稚園もそれぞれ子育ての拠点として、大きな役割を果たしてきました。これからも子育ての課題は多くあり、きめ細かい対応が必要です。

統廃合することにより、通う距離が遠くなること、職員の削減による保育士の負担増など、大規模化による弊害などにはあまり目が向けられていません。

子どもを大切に育てる、みんなで助け合いながら育てるためには何が必要なのか、もっと議論する必要があるのでしょうか。



71回目の終戦の日、姫田議員、松坂議員、坂口多美子さんと私の4人で街宣に出ました。午前中は奥村県議、南畑議員と坂口さんが、そして夕方の部として私を含めた4人でそれぞれ、平和への思いを訴えました。

坂口多美子さんは7月の参議院選挙で日本共産党の比例候補として奮闘され、そのお礼と昨年の9月19日以来、「安本法制」をこのままにしておけないとの強い気持ちを語られていました。道行く人が見て、手を振ってくれる方もありましたが、それにしても暑い1日でした。(8/16ブログより一部抜粋)

<http://sachikogo.exblog.jp/>



4年に一度のスポーツ祭典、オリンピックが8月6日から開幕。開催地のリオデジャネイロは12時間の時差があるため、リアルタイムで放映されるテレビにかじりついて、毎日寝不足の方も多かったとか。

私自身はスポーツがあまり得意ではありませんが、観るのは大好き。陸上、水泳、バドミントン、卓球の試合を観ましたが、手に汗握る場面がいくつもありました。

どの種目も大健闘だったのではないのでしょうか。レスリングの吉田沙保里選手が金メダルを取ることが当たり前だと思われていたのか、決勝

で惜しくも敗退し銀メダルと決まったとたん、「申し訳ない」と泣き崩れたのには「なぜ?」と思わずにはいられませんでした。メダルを取るという目標に向かって誰しもがんばるのでしょけれど、がんばって戦うその姿、表情そのものが美しいと私は思います。オリンピックに参加したすべての選手のみなさんにありがとうの思いを贈ります。

「残暑厳し 四人淑女や行動す」

南條きわえ

この行動で日刊紙をお一人の方に、日曜版をお二人の方に購読頂けることになりました。